

高齢者等実態調査の概要について

1 目的

文京区の65歳以上の高齢者及びその家族の生活実態や意識、介護保険サービスの利用状況等に加え、様々な分野の地域活動の主体として期待されるミドル・シニア世代の意識や意向及び介護サービスを提供する事業者の実情等を把握することによって、高齢者・介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）の策定に必要な基礎資料を得ることを目的として実施する。

2 調査の種類、対象者及び調査項目等

(1) 区民向け調査

調査名	対象者	調査項目（予定）	調査実施数	対象者数
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（要介護1～5以外の高齢者）	第1号被保険者 ※1 要介護等の認定を受けていない被保険者	日常生活圏域ごとに被保険者の身体及び生活状況、地域活動、生きがい等	約3,000人 無作為抽出	約35,000人
	要支援認定者 ※2 在宅の要支援認定者			約1,900人
② 50歳以上の現役世代調査	ミドル・シニア世代 ※3 要介護等の認定を受けていない50～64歳の2号被保者	日常生活圏域ごとに被保険者の地域活動、生きがい等	約3,000人 無作為抽出	約36,000人
③ 在宅介護実態調査（郵送）	要介護認定者 ※4 在宅の要介護認定者及びその家族	被保険者本人の心身の状態、サービスの利用実態及びニーズ、介護者の就労状況等	約3,000人 無作為抽出	約6,000人
④ 在宅介護実態調査（聞き取り）			約100人 抽出	

(2) 事業者向け調査

調査名	対象者	調査項目（予定）	調査実施数	対象者数
⑤ 介護サービス事業所調査	介護サービス事業所 区内で介護サービス事業所を運営する事業者	事業者概要、今後の事業展開、人材確保策、研修、危機管理、サービスの質の向上への取組等	約200事業者 者全数	約200事業者
⑥ 介護従事者調査	介護従事者 区内の介護サービス事業所に勤務する介護従事者等	本人の労働状況や仕事に対する思い等	約1,000人 事業者による抽出	不明

※1 「第1号被保険者」…要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の被保険者

※2 「要支援認定者」…在宅で要支援認定を受けている65歳以上の被保険者

※3 「ミドル・シニア世代」…要介護・要支援認定を受けていない50～64歳の被保険者

※4 「要介護認定者」…在宅で要介護認定を受けている被保険者及びその家族

3 調査方法

①、②、③、⑤、⑥は、アンケート（郵送配布・郵送回収）方式

④は、介護支援専門員（ケアマネジャー）による聞き取り方式（③と④の対象者が重複しないよう調整）

4 調査内容等

ア 調査項目及び設問 高齢者等実態調査検討会で素案を作成、地域包括ケア推進委員会（高齢者・介護保険部会）へ協議し、地域福祉推進協議会にて決定する。

イ 目標回収率 60パーセント以上

5 業務委託

調査会社に委託して実施

- ・調査票等の作成
- ・発送
- ・回収
- ・集計
- ・分析
- ・コールセンター運営
- ・報告書（概要版）作成
- ・聞き取り調査（訪問調査を除く。）
- ・会議等の運営支援等

6 調査時期

令和元年10月実施予定

7 スケジュール

令和元年	5月14日	第1回地域福祉推進協議会幹事会	
	5月22日	第1回地域福祉推進本部	
	5月23日	第1回地域包括ケア推進委員会（調査概要の検討）	
	5月31日	第1回地域福祉推進協議会	
	6月	6月議会（調査概要の報告）	
	7月	第2回地域包括ケア推進委員会（調査項目の検討）	
	8月	第2回地域福祉推進本部・地域福祉推進協議会	
	9月		第3回地域包括ケア推進委員会（調査項目の報告）
			9月議会（調査項目の報告） 区報9/25号
	10月	調査票発送・回収	
	11月	集計・分析	
	12月	第4回地域包括ケア推進委員会（調査結果概要の報告）	
令和2年	1月	第3回地域福祉推進本部・地域福祉推進協議会	
	2月	2月議会（調査結果の報告）	
	3月	調査報告書納品・第5回地域包括ケア推進委員会（調査結果の報告）	